

1 後期スタートから12月末までを振り返って

3年生の人が書いた作文を紹介します。

「一略一 挨拶では、大きな声を出すのが苦手ですが、挨拶キャンペーンの時は自分なりに頑張って声を出しました。廊下ですれ違った先生に挨拶ができ、先生が返してくださった時に、勇気を出してよかったと思えました。」

後期の始業式で『自信を持つとは、自分のやってきたことを信じること』と話をしました。授業、自分の係、学年や生徒会のキャンペーン、掃除や給食当番、部活動など、今迄の自分はどうでしたか？

『今の自分から一歩でも半歩でも前に進む向上心を持つことは、自分を成長させる出発点である』ことは、今までにも話をしていることです。紹介した作文は、人から見たら小さなことかも知れませんが、自分で挑戦し、できた喜びを感じられたことを本当に素晴らしいと思うのです。こうしたことの積み重ねが、自分を高めていくのです。

すぐに平成30年を迎えます。自分を振り返り、「こんな自分になりたい」という新年の目標を持って、1月5日の始業日を迎えましょう。

2 生徒会や学年の取り組みについて

委員会が行ったキャンペーン、各学年クラス長会のキャンペーンは、よりよい学校生活を目指して皆が同じ方向を向いた取り組みができ、どれもが大きな成果を得ました。また、執行部の皆さんは、11月初旬から1カ月半の長きに渡って、中央中レクの運営をしてくれました。楽しい時間を提供してくれてありがとう。

様々な取組の中で、頑張っている仲間を認めていくこともできました。皆さんは仲間のよさを見つけられましたか？ 仲間のよさを見つけられた人は、ぜひ自分をほめてあげてください。

「自分を見つめ自分を知る 仲間を見つめ思いやる」ことができる人は、人として成長をしているのです。

3 新型コロナウイルス感染予防について

現在は、第3波が到来し、連日のように1日の感染者数が過去最高だったなどと報道がされています。イギリスでは変異種が見つかり、世界に広まってきているとも聞きます。ワクチン接種ができるようになるのはまだまだ先になりそうで、コロナ感染症をなくすことは、日本では何も解決ができていない状態です。

私たちにできることは、感染予防と、もし感染したとしても人にうつさないことです。しかし、毎回のように同じことを言われ、慣れてきている、緩んできている自分がいることも事実です。

皆さんは、毎日の検温をしていますか？ 熱がある人が登校を控えることは、万が一感染をしていたら人にうつさないようにするためです。消毒は、自分を守るとともに、自分に付着しているウイルスを持ち込まないためです。検温をせずに登校をすることは、今やらなければならない最低限の責任を果たしているとは言えません。

高校や大学の部活動などで感染が拡大したり、会社や施設などの仕事関係で感染が拡大したりしています。冬休み中も気を緩めることなく、必ず検温をして自分の体調を知る事、換気や手洗い・消毒をして感染予防を確実にやり切りましょう。

それでは、1月5日、充実した冬休みを過ごした皆さんと会えるのを楽しみにしています。